

地域福祉かわら版

YOMO-DE!

よも〜で



第34号

「コミュニティビジネス」への挑戦!!

社協では、あらゆる多世代や文化の違うコミュニティが農業を通じ交流できる新たな「地域の居場所」を創造することを目的に、世知原町開作地区において、「つながる農園」プロジェクトを始めています。

その内容は、合鴨農法により無農薬でお米づくりを行うものです。その中で、田植え・稲刈り・収穫祭の行事を企画し、参加者同士の交流を図る中で、農園を居場所しに、みんながつながってほしいと考えています。実施にあたっては、地域の協力者（農業経験者）や、その方たちのノウハウを活用し実施するもので、農園の収益は、農業の運営や本事業運営のための費用のほか、地域の課題解決のための必要な経費として活用します。

令和6年度は、6月1日（土）の田植えを皮切りに、みんながつながる農園の運営を開始します。活動の状況などは、今年度開設します社協のイン스타그램で随時報告します。

プロジェクトメンバー
アイガモがやってきました

5月15日から田んぼに放つまでの間、吉井北保育園で過ごします♪

農園での活動



穫れたお米で収穫祭



稲刈り



合鴨の放鳥



田植え

農園の収益



◇農業運営・事業運営費◇

苗・堆肥、合鴨や飼料など材料費

◇地域の課題解決のための資金◇

（例）子ども食堂、買い物支援など

コミュニティビジネス

地域の課題をビジネスの手法で解決に

コミュニティビジネスとは、「市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決する事業」の総称です。

現在、地域には人口減少に伴い、医療・介護・保育現場等での人手不足、地場産業の後継者不足、雇用先の減少など様々な課題が滞積しており、さらなる人口減少と高齢化に拍車をかけています。

このような地域課題に対して、国も様々な補助金や助成金の対策を講じているものの支援の手が追いついていない実情があります。

そこで、補助金等に頼らず、住民が主体となって地域にある人材やノウハウなどを活用することにより、自ら生み出した利益で地域課題を解決する「コミュニティビジネス」が地域福祉実践活動においても注目を集めています。

誰がするの？

コミュニティビジネスの担い手は、特に限定されるものではなく、個人や任意組織、NPO、各種組合、会社（株式会社等の営利法人）など様々な組織形態での参加が可能な活動です。

どんな分野があるの？

コミュニティビジネスは、地域の課題をビジネスの手法で解決することから、地域が抱える課題に合わせて分野は多岐にわたります。

【主な活動分野】

- ・ まちづくり
- ・ 農業支援
- ・ 介護、福祉支援 など
- ・ 環境、資源の保全
- ・ 観光支援
- ・ 商店街活性化
- ・ 高齢者支援

どんな効果があるの？

地域の課題解決のためのビジネスにより、地域における創業の機会や就業機会を拡大する効果が望めます。

このほか、その地域に暮らす住民自らが主導し実践することによって、地域社会の自立・活性化・コミュニティの再生、また、市民と行政・企業との連携強化などの効果も期待されます。



前回の“クイズでポン”の答え あきらめない心 でした

事故により片腕を失うこととなった中でも、周囲の支えの中で夢を叶えることができたという伊藤様の経験談を通して、あきらめない心を持つことの大切さを教えていただきました。

何事にも挑戦し、あきらめず頑張っていこうと強く思うきっかけとなりました。

クイズへのたくさんのご応募ありがとうございました。

お問い合わせ先

佐世保市社会福祉協議会「よもーで」係

〒857-0028 佐世保市八幡町6-1

TEL 0956-24-1695/FAX 0956-22-0152

Eメール: yomo-de@sasebo-shakyo.or.jp



佐世保市社協

検索

させぽんの

クイズで **ポン**♪

Q

今年度、社協が合鴨農法を通じてお米づくりを行うプロジェクトは何でしょうか？

「〇〇〇〇農園」

〇の中に言葉を入れてネ



答えは、ハガキかEメールで、①郵便番号・住所 ②氏名 ③年齢 ④答え ⑤YOMO-DE!の感想・ご意見を記入のうえ、下記の宛先までご応募下さい。

抽選で**5名様にQUOカード(1,000円分)**をプレゼントいたします。

発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

【応募締切】令和6年7月31日（消印有効）

次回は令和6年9月発行です。お楽しみに!!